



心ひとつに

校訓「心ひとつに 明日を拓く」
教育目標「気づき、考え、行動する生徒の育成」

美郷町立美郷中学校
令和6年1月19日
文責：西鳥羽



* 本校ホームページ→



後期後半開始

実力テスト（1・2年生）



元旦の初稽古

15日は、雪の降りしきる寒い朝となりましたが、校内には活気が戻ってきました。いよいよ、今年度の締めくくりとなる後期後半がスタートしました。

3年生は、冬季休業期間中も進路希望の実現に向けて、学習相談やテスト、面接練習等に取り組んできました。

1・2年生も自らの目標に向かって、学習や部活動等に励んだようです。16日には、その成果を確認するための実力テストに臨みました。生徒一人一人が、20日間の休業期間中に蓄えた力を発揮して、来年度の大きな飛躍へとつながる約2か月間を過ごすこととなります。

1・2年生も自らの目標に向かって、学習や部活動等に励んだようです。16日には、その成果を確認するための実力テストに臨みました。生徒一人一人が、20日間の休業期間中に蓄えた力を発揮して、来年度の大きな飛躍へとつながる約2か月間を過ごすこととなります。



出前授業

今週から来週にかけて、美郷町南給食センターの栄養教諭である〇〇〇〇先生をゲストティチャーにお迎えして、2・3年生の家庭科の授業を行っています。始めは15日の2年1組でした。郷土料理や地場産物、美郷産食材について、生徒の考えを引き出しながら、授業が進められました。本町の湧水を活用して栽培している「美郷れんこん」などの新たな取組も知ることができました。また、給食には美郷産食材がたくさん使用されており、生徒は給食の献立表からそれを探して印を付けることで、地産地消を実感できたようです。成長期である中学生に必要な栄養素とカロリーを考慮して給食の献立が作られていることや、成人後の健康保持のためにも、中学生の時期にしっかりと食べることが大切であることなどもお話いただきました。反対に、成長期をとうに終えた大人が、生徒と同じ量の給食を食べることの危うさも再確認できました。

天筆に願いを込めて



18日に1年生が「天筆」書きをしました。

天筆は、700年あまりの歴史があるとされ、国指定重要無形民俗文化財に指定されている

「六郷のカマクラ」に含まれるもので、緑、黄、赤、白、青の順に継ぎ合わせた色紙に、「奉納 鎌倉大明神 天筆和合楽 地福円満楽…」と書き始め、最後には和歌一首「新玉の年の始めに筆とりて万の宝かくぞあつむる」を書くのが習わしとなっています。子どもたちはこれに「学力向上楽」や「部活向上楽」等の自分の願いを込めた言葉を書き加えていました。書き上げた天筆は体育館に掲揚された後に、「竹打ち」会場へと運ばれます。今年の「竹打ち」は2月17日（土）に行われる予定です。

甲辰（きのえのたつ）

今年「辰年」ですが、その中でも

「甲辰（きのえのたつ）」にあたります。「甲」は、耐え忍ぶ状態や生命・物事の始まりと成長を意味し、「辰」は草木が生長して活力が旺盛になることを表すそうです。このことから、今年、「これまでの努力が実って、夢が叶いやすい年」になることが期待されています。「辰」は「竜（龍）」のことであり、古くから隆盛の象徴として親しまれてきました。確かな目標をもち、それに向かってコツコツと努力を重ねることで、夢を叶えてほしいと思います。私自身も年男として、気持ちを新たに頑張りたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

◆◆生徒の頑張り◆◆

☆秋田県相撲連盟 奨励賞

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇〇〇〇 〇〇〇〇

☆皇后杯第42回全国都道府県対抗女子駅伝大会
出場 〇〇〇〇（第8区）